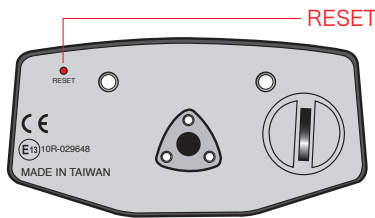
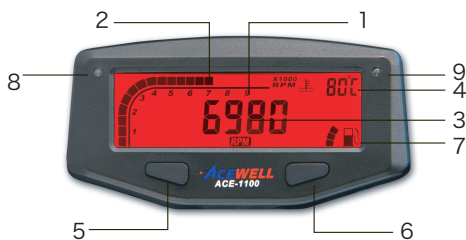


ACEWELL® 多機能デジタルメーター

ACE-1000/1100 取扱説明書

この度は弊社製品をお求め頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書はACE-1000/1100 ーズ多機能デジタルメーター用としてかかれております。ACE-1000には水(油)温計・電圧計の各機能は搭載されておりませんので該当(*)表示部分はACE-1100の説明となります。



E13 10R-029648

表示パネル説明

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. タコメーター目盛 | 6. MODEボタン |
| 2. タコメーター表示 | 7. 水(油)温*・燃料計表示 |
| 3. メインデジタル表示 | 8. シフトワーニングLED |
| 4. 温度表示 | 9. 温度*・燃料残警告LED |
| 5. RESETボタン | |

特長

- ディスプレイはバーグラフタコメーター・デジタルタコメーター*・バーグラフ燃料計と他1機能の値を同時に表示が可能。
- バーグラフタコメーターの最大表示回転数はエンジン特性に合わせて10,000rpmまたは20,000rpmに切替が可能。
- 2系統のメンテナンスリマインダーを装備。電源はCR2032リチウム電池と車両バッテリーのどちらでも使用可能
- バーグラフタコメーターの最大表示回転数はエンジン特性に合わせて10,000rpmまたは20,000rpmに切替が可能。
- オドメーターは30km(18.6mile)未満の場合に限り、ユーザーによる任意値への変更が可能。
- 燃料計のフェルセンサー抵抗値は+/-100・250・510Ωに切替が可能。燃料計OFF機能も装備。
- 取り付けステー・点火信号センサー線・速度センサー・温度センサー・ワイヤーハーネスを標準添付。

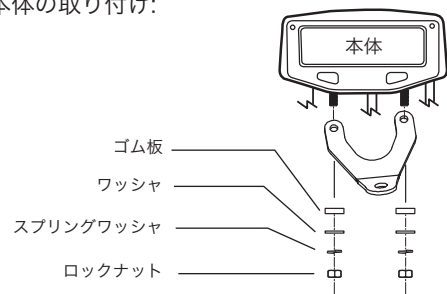
仕様

機能	記号	規格
タコメーター		500-10,000 rpm または 1,000-20,000rpm
デジタルタコメーター	rpm	100-19,900 rpm
デジタル水(油)温計*		+50°C-180°C / 122°F-356°F
時計		0:00' - 11H59'/23H59'
原動機運転時間1/2	RT 1&2	0-9999H59'
電圧計*	V	8.0-25.0V
最高温度表示*	MAX°C/°F	+50°C-180°C / 122°F-356°F
総原動機運転時間	TT	0-999999H
燃料計 または バーグラフ水(油)温計*		100Ω, 250Ω, 500Ω 切替式 1-7セグメントバーグラフ表示

電源電圧	直流 9-18V
エンジン回転信号	CDIまたはイグニッションコイル信号
温度センサー*	サーモセンサー*
設定可能タイヤ外周長	1mm-3999mm
消費電流	50uA (時計モード) 1mA (通常モード・バックライト不点灯) 15mA (通常モード・バックライト点灯) 25mA (通常モード・バックライト連続点灯)
外形寸法	110.0mm×55.0mm×21.5 mm

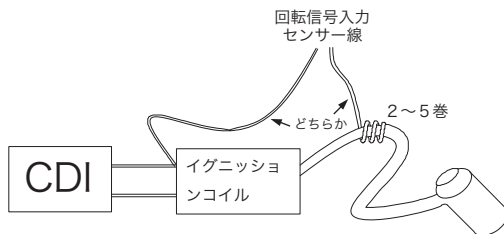
取り付けと付属品

本体の取り付け:



エンジン回転信号センサーの取り付け:

1. プラグコードからの信号強度は車両により異なります。
2. プラグコードに2~5回巻きつけます。巻き数を増やすと信号は強力になり、減らすと信号は弱くなります。適正な強度になるよう巻き数で調整します。
3. 本品の回転信号入力回路はほとんどの車両に適合するように設計されていますが、一部の車両では信号が強すぎて動作が不安定になることがあります。その時は付属の1MΩ抵抗をセンサー線に直列に接続します。



温度センサーおよびセンサーアダプター*:

1. セットには水温センサーが付属しています。;センサーを適切な位置へ簡単に取り付けるために冷却水ホースに割り込ませるセンサーアダプターをオプションで用意しています。
2. センサーアダプターは、切断した冷却水ホースの間にアダプタを割りこませ、付属のクランプで確実に固定します。
3. アダプタへセンサーを締め付けて固定します。
4. サーモスタットが開いてから冷却水を補充し、充分にエア抜きを行ってください。

機能

- **BAR RPM:** バーグラフタコメーター
バーグラフタコメーターは10,000rpm及び20,000rpmスケール切替式です。
- **RPM:** デジタルタコメーター
 1. フルスケール19,900rpmでエンジン回転数を数字で表示します。20,000rpm以上の時には19,999rpmと表示されます。
 2. エンジン回転信号はCDIまたはプラグコードのいずれかから取得します。:シフトワーニング機能
- **シフトワーニング機能**
 1. 任意に設定したエンジン回転数でシフトワーニング警告LEDを点滅させ、ギアチェンジのタイミングやオーバーレブを知らせます。
 2. 設定回転数を超えている間は、警告LEDが点滅し続けます。
- **MAX RPM:** 最高回転数表示
前回リセット操作を行った以降の最高エンジン回転数を表示します。
- **RT:** 原動機運転時間
 1. 前回リセット操作を行った以降のエンジン運転時間を表示します。
 2. エンジンを始動すると自動的に積算を開始します。
- **TT:** 総原動機運転時間
 1. メーター使用開始時からのエンジン運転時間を表示します。
 2. この数値をリセットすることは出来ません。
- **⌚:** 時計
現在の時刻を12時間制または24時間制で表示します。

● 温度計: デジタル水(油)温度計*

1. 温度は画面の右側に常に表示されています。
2. 温度が50℃(122℉)より低い場合、-L-℃(-L-℉)を表示します。また、温度が180℃(356℉)より高い場合、-H-℃(-H-℉)を表示します。
3. 水(油)温が設定された値を超えると、温度警告LEDと温度表示が点滅します。この時、MODEボタンは無効となり他のモードに切り替えることが出来なくなります。温度が設定値以下に下がると復帰します。

● RT1 or RT2: メンテナンスリマインダー

1. このメーターには2系統のメンテナンスリマインダーが装備されています。セットモードで設定した時間から逆カウントし、メンテナンスの時期を知らせます。「0」になる前にメンテナンスを行った場合でもリセットすることで設定した初期値に戻すことが可能です。2系統は全く独立して作動します。
2. リマインダーが減算されて「0」になった場合「RT1&RT2」が点滅してメンテナンスの時期であることを知らせます。
3. メンテナンスが終わったらRESETボタンを長押ししてリマインダーを初期値に戻します。

● MAX °C/°F: 最高水(油)温表示*

前回リセット操作を行った以降の最高温度を表示します。

● Volt: デジタル電圧計*

車両の電源電圧を数字でリアルタイムに表示します。

● 燃料計

1. ガソリン残量を8段階のバーグラフで表示します。
2. フューエルセンサー抵抗値は100、250、510Ωより選択が可能です。使用しない場合は機能をOFFすることができます。
3. 最後の1段階は一番下のバーの点滅で表示します。

● 低電圧警告

1. 内蔵CR-2032電池が低電圧状態になると「LO」マークが表示されます。すみやかに内蔵電池を交換してください。
2. 電池ふたを左に回してふたを外し、内蔵電池を取り外します。電池を取り外しても設定値などが消えることはありません。
3. 新しい電池を(+)を上にして入れ、元通りふたを取り付けます。防水性に影響が出ますのでふたが正確に取り付けられているか確認してください。
4. 電池交換後は背面のリセットボタンを一度押ししてください。

RESET ボタン

1. RESETボタンを2秒間長押しすることで、原動機運転時間・最高温度メモリー*・最高回転数メモリーをリセットすることができます。
2. 総原動機運転時間と時計はリセットできません。

温度警告*/燃料残量警告

1. 設定した警告温度を超えるとディスプレイは強制的に水(油)温表示に変わります。
2. 温度表示と警告LEDは点滅して、ボタン操作は出来なくなります。
3. 設定した警告温度以下に下がると2.の点滅動作は終了し、ボタン操作が再び出来るようになります。

シフトワーニング回転数の設定

1. エンジンを掛け、MODEボタンを押してデジタルタコメーターを表示させます。
2. スロットルを回し、警告したい回転数までエンジン回転数を上げ、そのままの状態でもRESETボタンを押してください。RESETボタンを押したときの回転数がシフトワーニング回転数としてセットされます。
3. (2.)で設定した回転数を超えるとバーグラフタコメーターと警告LEDが点滅することを確認します。
4. 回転数を再設定する場合は1.の状態でも2秒間RESETボタンを長押ししてください。

内蔵電池とバックライト操作:

1. バッテリーを積まないレース車両などでも使用できるよう、本機にはCR2032電池が内蔵されています。ただし内蔵のCR2032電池のみでの稼働時間は200時間程度となります。
2. CR2032バッテリーは、バイク搭載の12Vバッテリーと併用できます。このときCR2032バッテリーはバックアップ電源として使用されます。
3. バックライトはバイク搭載バッテリーから電源が供給されている時は常時点灯、内蔵電池使用時はボタン操作時に3秒間点灯します。

時計・タコメーター・温度および燃料メータの設定

1. セットアップモードでは現在時刻、12/24時間制切替、タコメーターフルスケールの切替、シフトワーニング警告回転数、タコメーターパルス数、温度の単位*、警告温度*、フューエルセンサー抵抗値、メンテナンスリマインダー時間の各設定を変更可能です。このモードで75秒間全くボタン操作が無い場合には自動的に通常モードへ戻ります。
2. セットアップモードに入るためにはMODEボタンとRESETボタンを同時に2秒間長押しします。セットアップモードの中では、MODEボタンを押す度に設定する項目が移動します。設定される項目は画面上で点滅しています。この状態でRESETボタンを押すと項目の数字が増えたり、単位が変更されたりします。どの画面からでもMODEボタンの2秒間長押しで通常モードへ戻ります。
3. セットアップモードは「12/24H」「XX:XX」画面から始まります。12/24時間制を選択して、時計を「時」「分」と順番に設定します。設定が完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。
4. 次にタコメーターフルスケール切替え画面になります。RESETボタンを押すたびにタコメーターのフルスケールが10,000rpm/20,000rpmに切り替わります。車両のエンジン特性に合わせて設定します。設定が完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。
5. 次に「RPM rXXX00」画面になります。出荷時は「RPM r06500」となっています。シフトワーニング回転数をMODEボタンで1ケタずつ移動させながらRESETボタンで数値を設定します。設定が完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。
6. 次に「RPM SPC-X.X」画面になります。初期設定値は1.0です; 設定には1.0、2.0、3.0および0.5の4種類があります。この数値は、1点火信号当たりのエンジン回転数を意味します。例えば、エンジン2回転あたり1回の点火信号が発生する車両に装着する場合の設定値は2.0となります。RESETボタンを押すたびに設定値が順番に変わります。設定が完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。
7. *次に温度計設定画面になります。RESETボタンを押すたびに℃、℉とOFFに切り替わります。OFFにセットすると温度計機能を使用しない設定となります。再び℃または℉にセットすると温度計機能を使用することが出来ます。完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。

ボタン操作

MODE ボタン

MODEボタンを押すごとに全ての機能が順番に表示されます。..



8. 次に「XXX」と8.で選んだ温度単位を表示します。8.でOFFを選択した場合、この項目は表示されません。警告温度を順番に設定します。MODEボタンで1ケタずつ移動させながらRESETボタンで数値を設定します。完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。
9. 次に燃料計設定画面になります。RESETボタンを押すたびに100r、250r、510 rとOFFに切り替わります。取り付ける車両のフューエルセンサー抵抗値にあわせていずれかを選択します。OFFにセットすると燃料計機能を使用しない設定となります。再び100r、250rまたは510 rにセットすると燃料計機能を使用することが出来ます。完了したらMODEボタンを押すと次の画面に移動します。
10. 次にメンテナンスリマインダー設定画面になります。「⌚」と「RT1/RT2」そして「XXXX」が表示されます。初期設定値はRT1が3時間、RT2が10時間となっています。メンテナンスリマインダー設定時間をMODEボタンで1ケタずつ移動させながらRESETボタンで数値を設定します。設定が完了したらMODEボタンを押すと3の画面に移動します。

